



これはこれは…
お前さんか

拝謁の僭上を
お許しください！

みにえ
御贄を献じに
参りました！



うむ

苦しゅうないぞ





ムクッ

いやいや...己オレは何に
興奮してるんだよ

.....

うまいのう〜





トヤ

やはり童の
神通力は
健在じゃな!



お前さんが貰いだ
この一張羅も
実によく馴染むし…



モグ

モグ

まあ神様が
喜んでるなら
いいか…



じゃがたまには
勤勉な下僕にも
褒美を取らせねば

のう?

いっ!?

そ、それは…



あれからミておらぬじゃろうっ♡

はっ
っーん♡



あッ...
ちよっとッ

久しぶりに
童と情交らぬか

ここ最近の貴様も
すっかり美味そうな
体つきになりよるに
どうじゃ?

待ってッ...

はっ



じゃあその...
また来ます

本当に忙しいので...
そういうのは...
また今度で...



びびり



あーもう
なんなんじゃ!

なんであやつは
童を拒むんじゃ



ゴゴゴ

ゴゴゴ



奴とてちよいと
イジればあの通り...

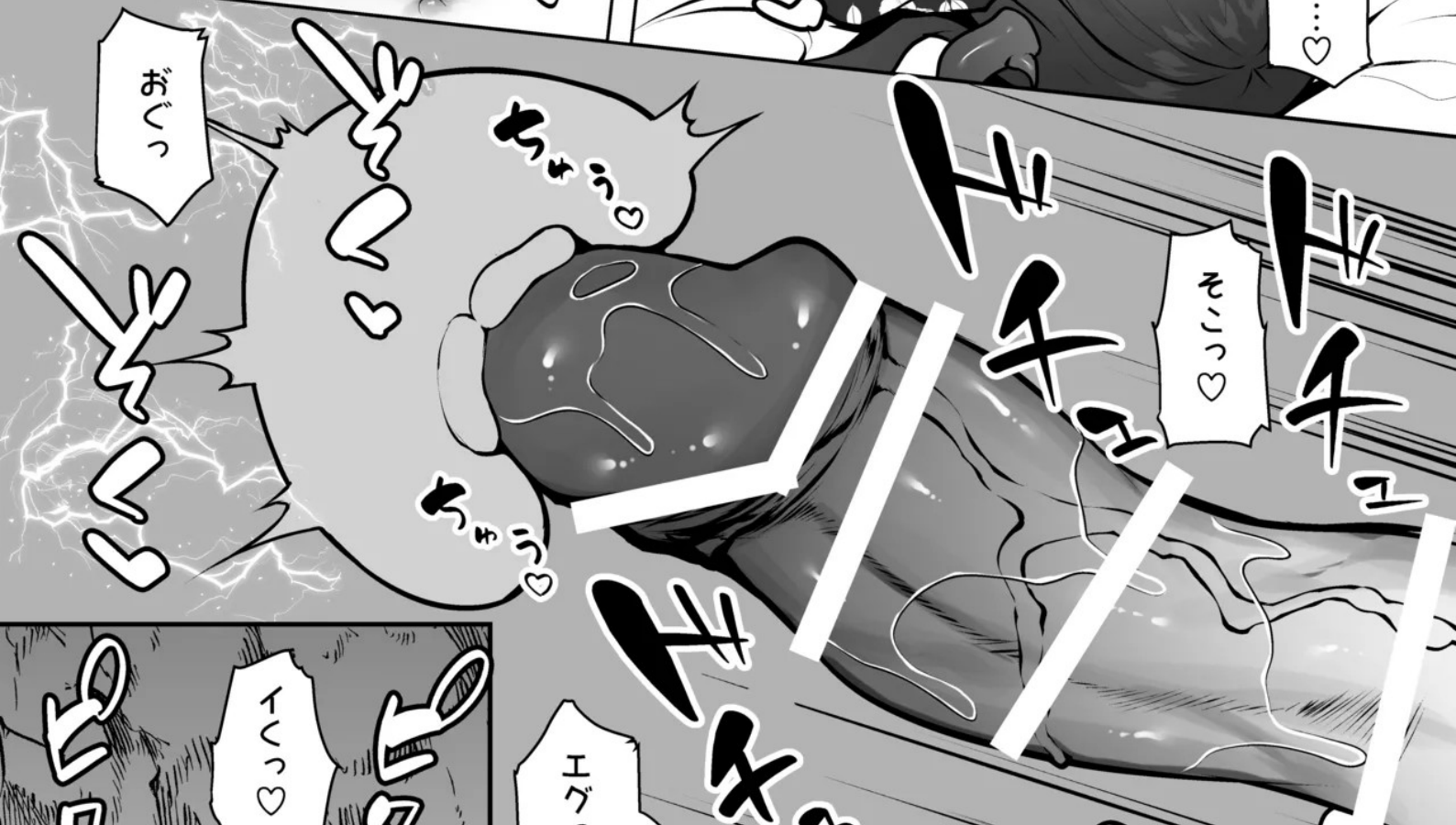
本心じゃやりたいと
思っておろうに...



んっ...♡

うず

うず







めちやくちや
やりたい…ッ!

くね♡

ムク

くね♡

ムク

ムク

ほ♡



あの小さい肉体に
命を握られて…

やめて…ッ

口では拒んでも
カラダ
肉体は正直じゃぞ♡

筋金入りの色惚けめ…♡

うっ…

オオオオ



ちがう！

己オレがあんな幼女こどもと色情を催すような変態のはずがない！

己オレは真人間…
真人間なんだ！

一体どうしてこうなった…



結局あの日…
己オレは“神様”に搾りとられて

無一文で下山したところを



お連れしました

うむ…



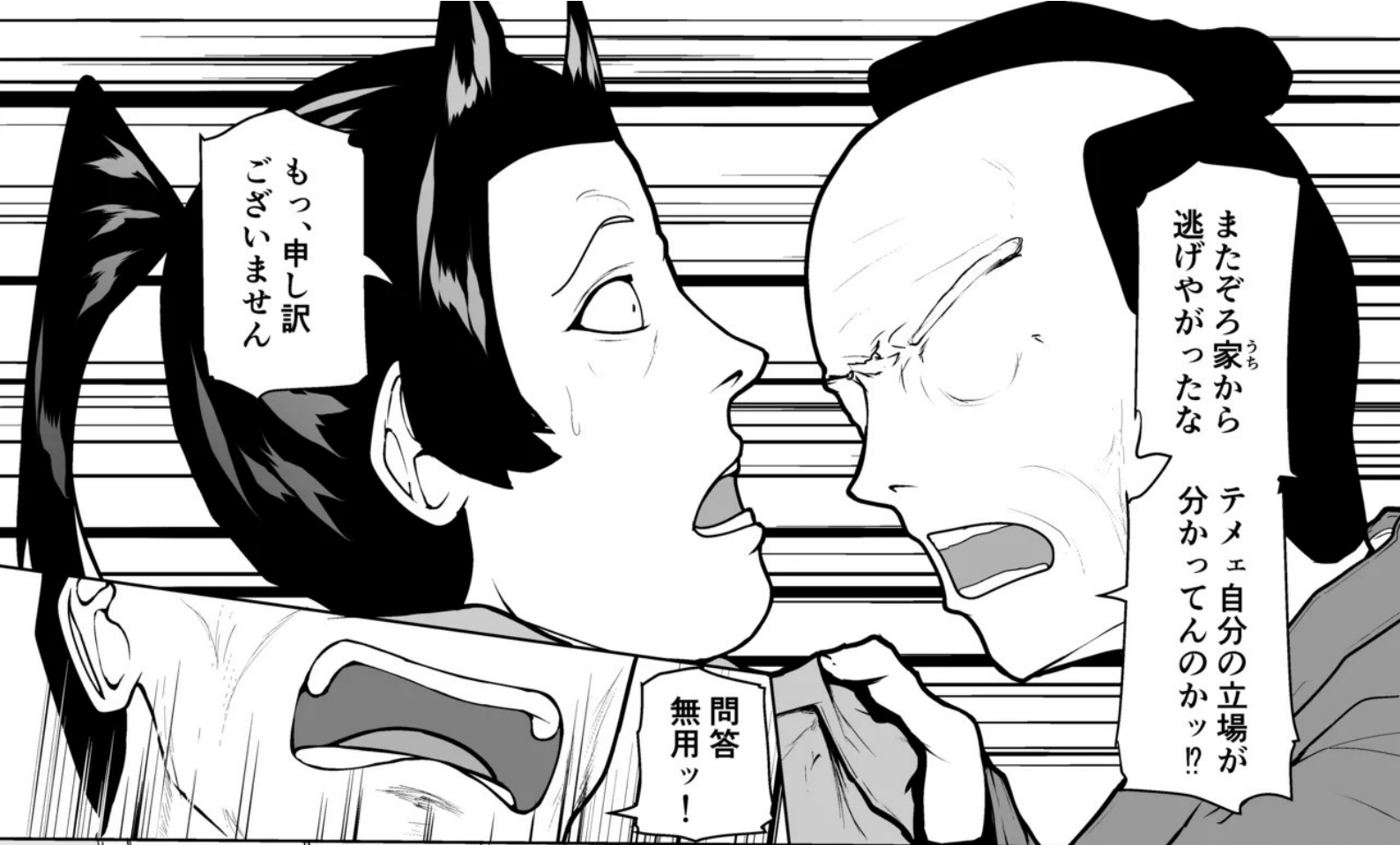
放してくれッ



若様…こんなところに

捜しましたぞ

なッ



もっ、申し訳
ございません

またぞろ家から
逃げやがったな
テメエ自分の立場が
分かってんのかッ!?

問答
無用ッ!



しかしお祖父様…
僕には無理ですよ

ケホ
ケホ

佐助よ、貴様は
温井家の跡取り
なのだぞ…

うっ…



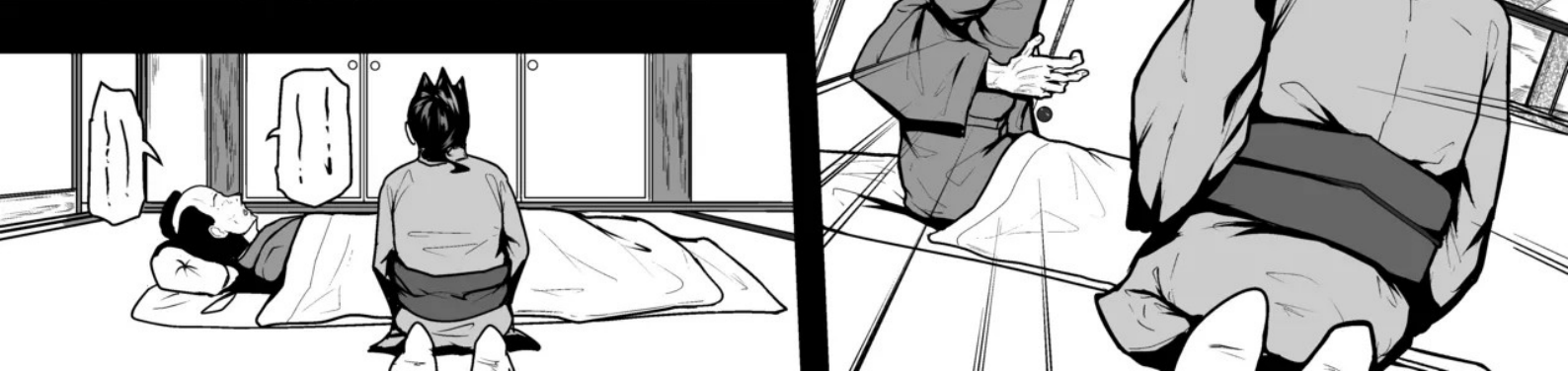
温井の家名は
重すぎます

黙って
言うことを
聞けッ!

はい…申し訳
ありません…

世の中には
望むと望まぬと
変わらぬこともある

そもそも
お前はだな…





……で、最後に女

お前は女にこそ
溺れなかったが
そこだけは絶対に
踏み外すでないぞ

はい…

それで何の話
だったか…
ああそうだ…



今度という今度は
家を抜け出そう
とは思うまいな？

はい…すべて
仰る通りに…



まさに棚から牡丹餅

昔の己^{オレ}だったら
博打の種銭に
していたところ

それが何を
血迷ったか



結局観念して
当主の名代を
務めはじめ…

そんな時
だった…



若様
ようお戻りに
なられて

さあ

え？いや
こんな
高価なもの



そう
云わんで
くたせえ

しかし





貴様最近どこを
ほったつき歩いて
いやがるッ

遊興に耽る暇なぞ
ないのだぞッ

稽古事にッ

政務にッ

ッ…!



真つ当に生きる
気は無いのか
この役立たずッ

まあまあ
御館様…

また坊ちゃんか
出奔なさいますよ…

うるさいっ!

儂に指図するな!



グッ…

落ち着き
なすって

ハア…

ハア…





でかい図体で
うじうじしよって

据え膳食わめは男の恥
と習わんかったんかえ

ぬおっ

バサッ

おぼっ

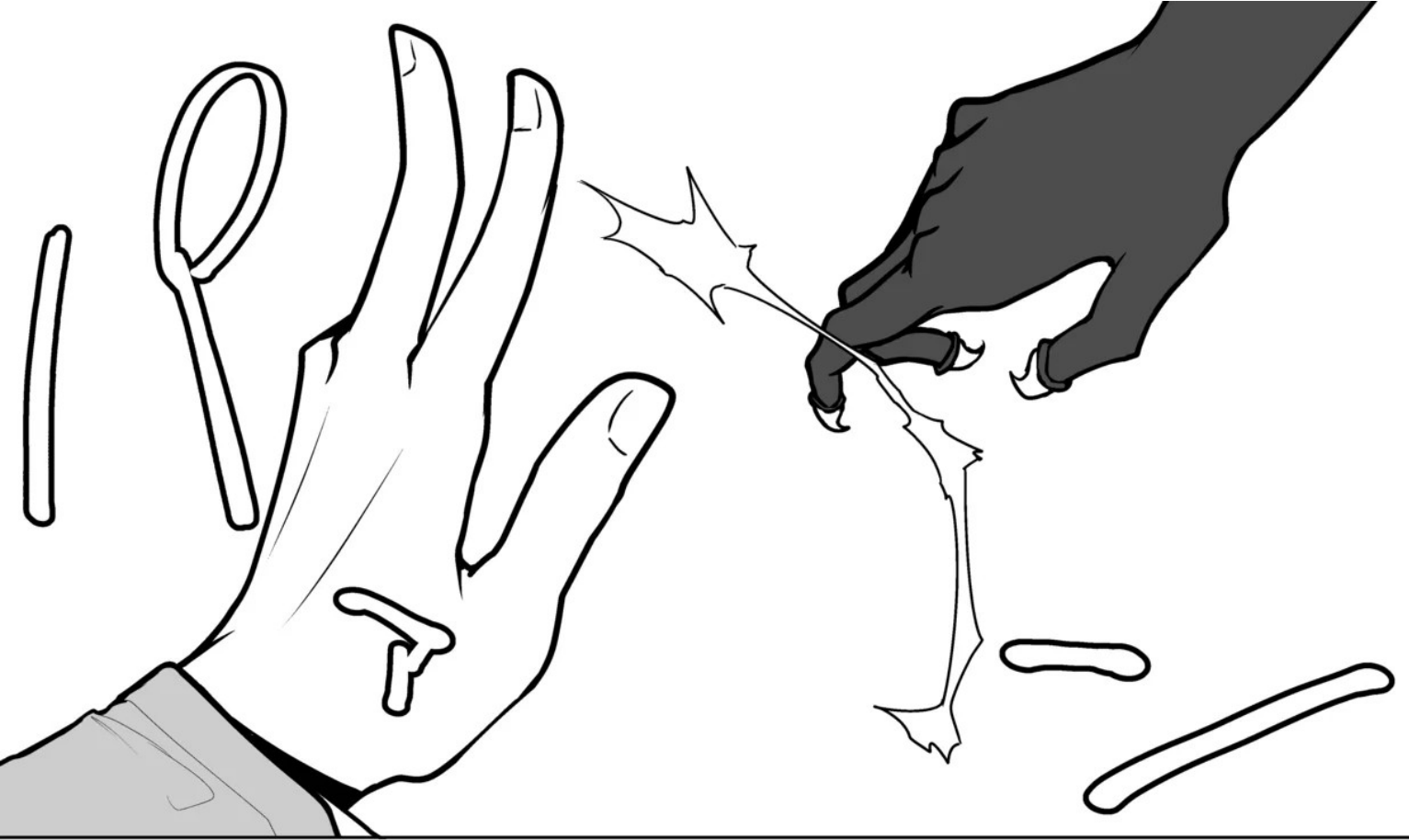


どうせ浮世では
役立たずじゃろうて



貴様なぞ黙って
犯されておれば
ええんじゃ♡

ニヤッ





や、やめて…



じゃから大人に
欲情できぬし

じゃから
家族にも
愛されぬし



真っ当な人間になぞ
なれっこないわい♡



元よりこんな肉体からだに
欲情する色惚けじゃろ

嗚呼…わかったぞえ

きっと貴様は
畜生でも
孕ませてデキた
落胤おとしこなんじゃよ



そこまで
云わなくても
いいでしょッ

どうしようもない
人間だつてのは

オレ
己が一番
わかつてますよッ

えっ？いや…

そんな怒るとは
思わなくて…



だいたい神様だつて
こんな山奥の
誰も詣でない
廃たれた神社で

忘れ去られてる
じゃないですかッ

おかしいでしょ！



わ、童は…

ううっ…



ほんとうは
大昔退治された
化け物だつたり
するんじゃない
ですかッ

なッ



じゃあ出ていけばよからう！

そんなに厭ならっ…

こんなところ
来なければ
よいではないか…

うっ…



云われなくとも
そうしますよッ！

まっどくれ！

バ
タ
ン

いかんどくれ…

ちがうのじゃ…



完全に
やらかした…



ああっ！
いらした



いやこんなところで
悔やむより先に
やるべきは一つ…
土下座でも
なんでもして
謝ろう…



なんであんな
くだらないことで
怒ったんだよ…
あれは彼女なりの
優しさだろうが

なんでそれが
分からないんだ
この莫迦…ッ



殿様がッ！



すぐにお戻りください！



祖父が死んだ



葬儀と併せて
家督継承の儀が
速やかに執られた



昼餉を喉に
詰まらせたらしい



あっけない最期だ



本当にここまで
せねばならぬのか？

もう今日だけで
何個目の式になる

佐助様は
先代と比して
威に欠けますに

埃のかぶった式も
せにやならんです

これも温井家のためと
堪忍してつかあさい

して、これは
一体なんだ



龍神を召喚し
威を借る儀で
ございます



いまなんと？



グビッ



さきさき…
ぐびっと



ただの真似事
ですんに…
童^{わらべ}みたい
に怯^{おそ}えんで
よろしおす

わ、分かつて
いるとも



まったく
その通りだな…



これにて
相承の儀は
終いです
したらばほんに
ご利益があるや
しれませんね



ああ…
いえ…殿様の
お気に入り
でござんしたんに
なんと…
あすこ
神社は坊ちゃん…



あわせる
顔なんか
ないだろ…

いや…
何を期待して
いたんだ

今更…



まあ所詮
儀式は儀式…



そろそろ月が
翳ってきたか



ん…



おっ!!



わらわ
童を喚んだな…

人間よ…



ん？おう

アア

アア

すぐ片すんで
お入りなすって
ください

まさか…!!
儀式は本当
だったのか!!

って…
なんじゃ
お前さんか

か、神様!?

無礼を避けようと
咄嗟に招き入れたが

……

……

き、気まずい……

えーっと……その……
外^{そと}界に出られたんですね

少しだけなら
元からのう……

じゃが今回は
貴様の所為じゃ！

うっ……

なんで童^{わらわ}が人間に
口寄せて喚ばれにや
ならんのじゃ……

新当主の権威^{はく}つけに
御呪^{おまじな}いのつもりで……
それがまさか
本当に効くとは

愕^{おどろ}きましたよ

それは童^{せりふ}の科白^{せりふ}じゃ

お前さんが
ここまでの
御曹司^{ごそうし}とはのう

一国一城の主
ではないか

たはは……
何様だつて
話ですよね



あーっと…
ここからなら
あの神社も
見えるんですよ

実は知って
おったり…

それはどうも…

たしかにこの絶景を
独り占めするのは
うらやましいのう…



えっあー…
そ、そうなん
ですね…

それって
つまり…



お前さんを
捜しておったから…



神様のほうは
こんなにも
歩み寄って
くれているのに

己は…
己は…



いや…
なんじゃそのお

童も時折
鳥居へ昇っては



ふーん…



申し訳ありませんでしたッ！

神人の立場も弁えぬ
不行跡を働いた上
御身を私邸へ
召喚する狼藉…



どんな償いも…とな？

はい…



どんな償いでも
致します…！！



そうさなあ…





よし

では舐めよ♡

!?



ではまず童を脱がせよ♡

えっ!

いえ喜んで…



うむ…♡

相変わらず
からだ
綺麗な肉体だ…



すっきりじゃ
すっきり♡

はっ









グハッ

グハッ

グハッ

グハッ

グハッ

グハッ

ハアハア...

神様っ
神様っ

グハッ

だめえっ♡

広げちゃあっ♡



グハッ

グハッ

イ...ッ



ハハの狗め...



ハア...

ハア...

貴様もびしょ濡れ
ではないか...

あ、ああ...
干さないと

かほっ

ド
オ



そりゃあ洗濯は
大事よなあ…？

じゃがその腫れは
どうしたものか…

乾かす間にどこか
落ち着ける場所が
あればのう…？



おはよう
おはよう



ハア…

ハア…

あれっうまく…

えっと…
“最初は竿を
押し当てて”

ゆっくりと
腰を引く”

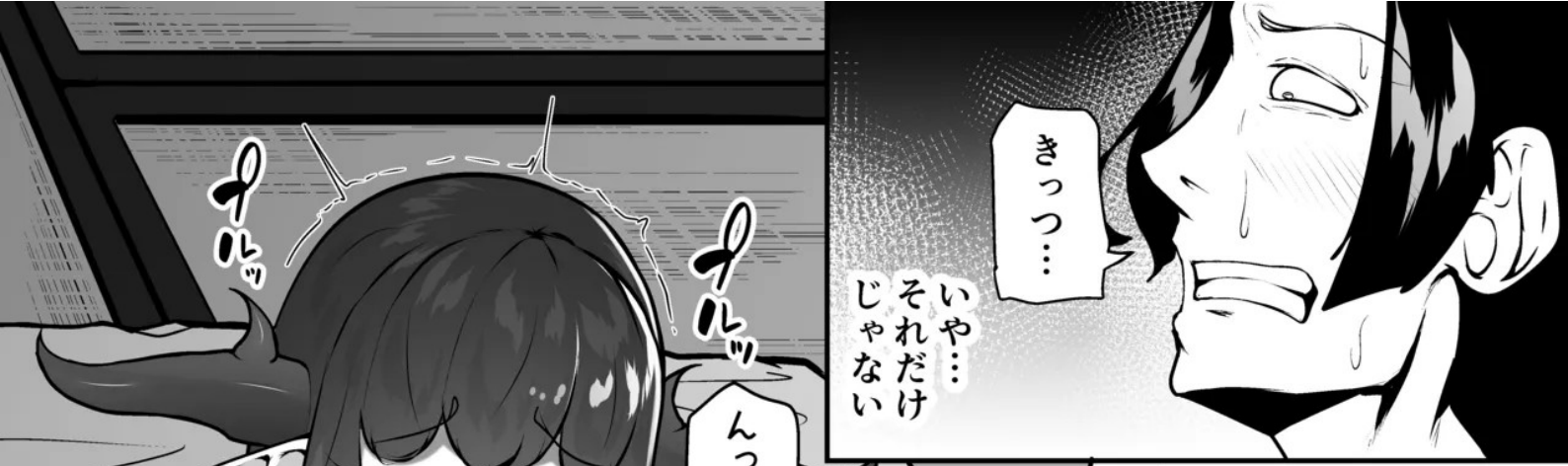
これこれ
はやく
逸るでない
童が教えたことを
忘れたのかえ？

んっ♡
ゆっくり
引いて…♡

そうじゃ
その通り♡
神様…っ

沈んだらッ





きゅっ…

いや…
それだけ
じゃない

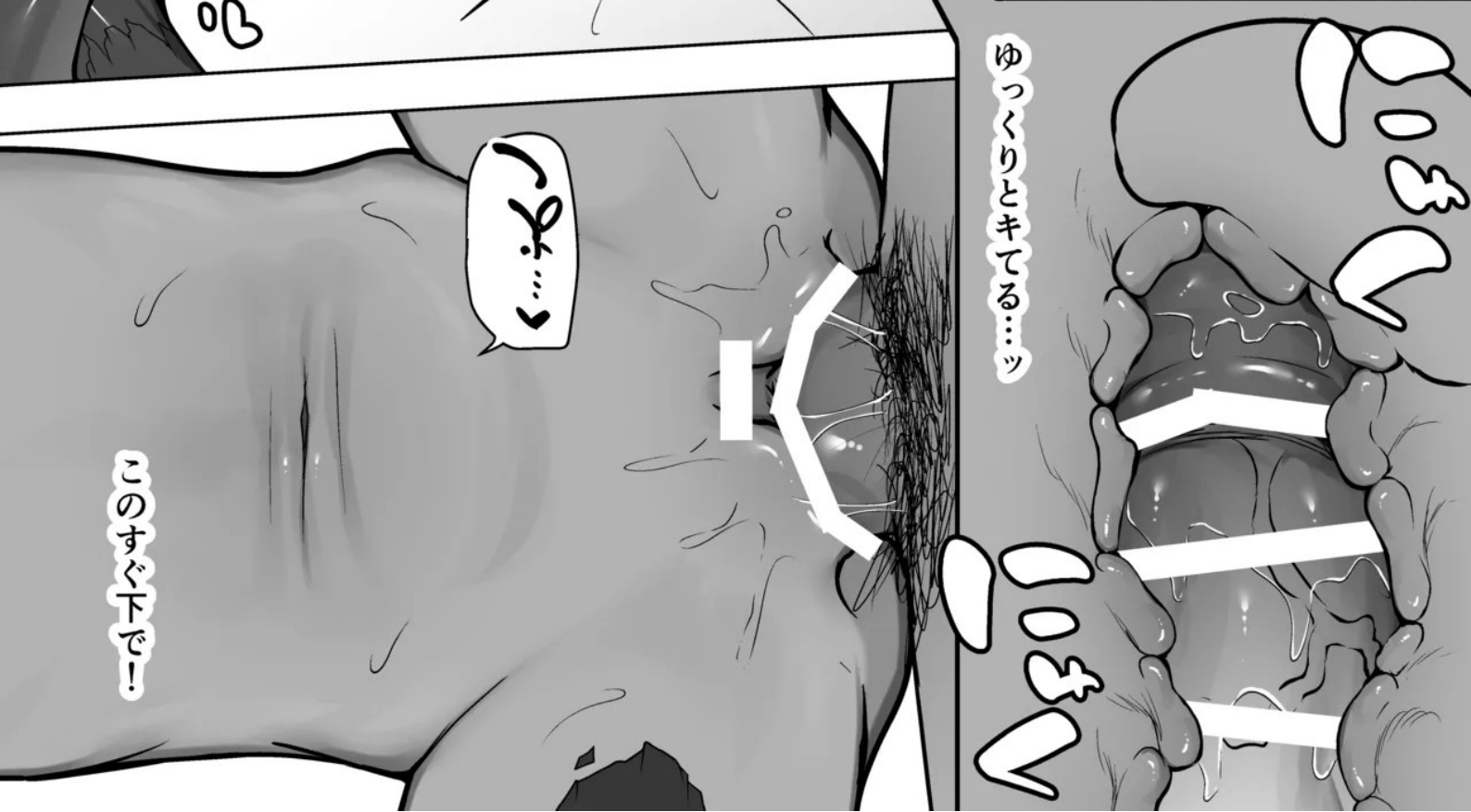
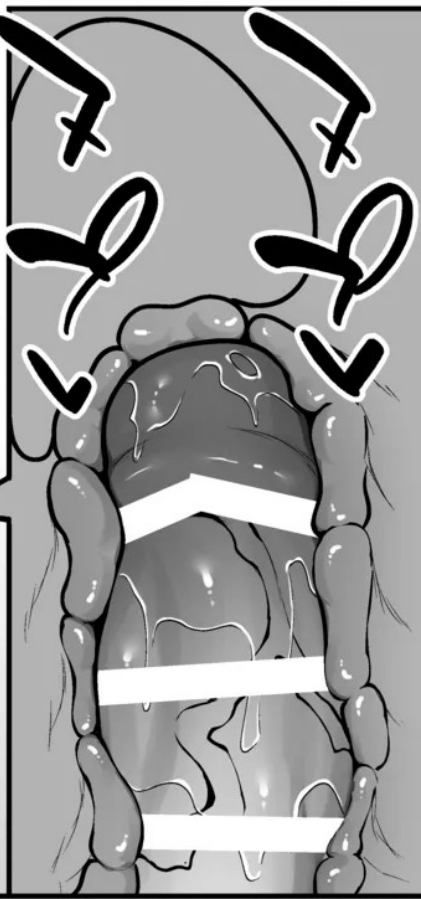
んっ…♡

んう…♡



神様の幼脰が
探ってきてる

巢穴から顔を
こっそり伺う
獣のように



ゆっくりとキてる…ッ

んっ…♡

このすべとどー！



あっいやっ
もう充分
ほぐれて
おるからっ

ハア

ハア

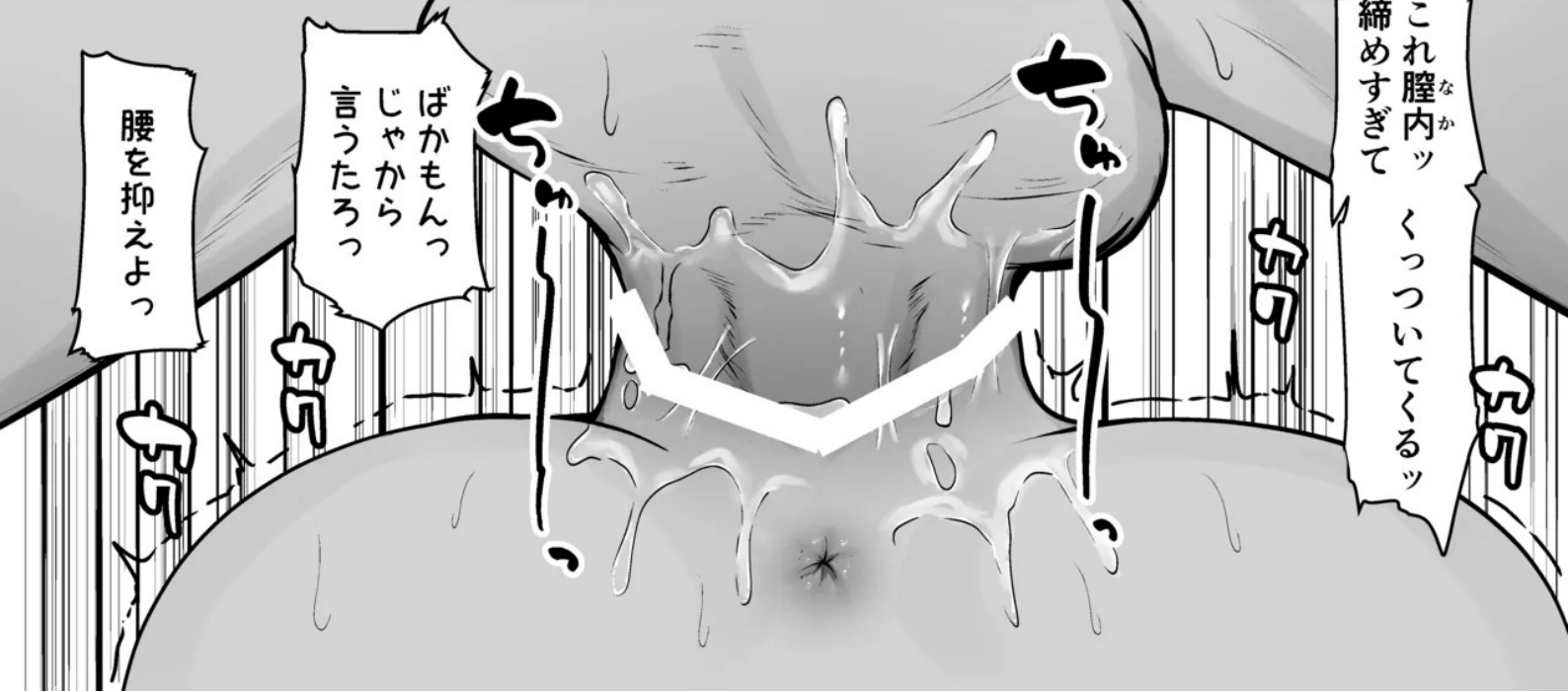
えっと…次は…
子宮^{おく}まで
挿入れたら

ゆっくりと
かき回して…

じゃから
そこはも

ちぢぢ

ずず



これ^{なか}腔内ッ
くっついてくるッ
締めすぎて

ばかもんっ
じゃから
言うたろっ

腰を抑えよっ

ちぢぢ

ちぢぢ

ちぢぢ

ちぢぢ



そう！

神様が
余りに綺麗で
見惚れてて！

はーん…

てつきりまた
童^{うぶ}貞^ぶみ^ぶたい^ぶな

み^ぶみ^ぶつ^ぶち^ぶい
悩^ぶみ^ぶでも
し^ぶと^ぶる^ぶの^ぶか^ぶと
思^ぶう^ぶた^ぶぞ^ぶえ



こころは仔犬ほど
繊細じゃからの♡

お前さんときたら
肉^{あそこ}体^こは馬並みでも



きん♡

のっ





そう云うと
己^{オレ}がそそられるとッ
分かっていて
挑発してゐるんでしょッ

その通りであろう♡



くそっ!
それだ!

男をくすぐる
言葉遣いも

その焦^{じれ}ったい
目つきもッ



好きで神様を
遠ざけたと
思うのかッ

その逆だッ!



戻れなくなるって
分かっていただけから

こんなにも繊細に
なってるんでしょッ



厭ひとな女ひとだったら
ずっと楽だったのに

神様は本心が
わからないから…

童の本心…?
お前さんそこまで…

はあ…まったく
世話のかかる
男じゃ…



莫迦なことで
悩みよって♡
これで貴様も
分かった
じゃろっ♡

うッ...

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ



あがッ

あがッ



莫迦な己でも
流石にわかる...

神様が...ッ
どういう
想いなのか...

ははッ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ

ゴゴッ

愛しています…

愛していますッ

己も愛しています…



あはあ

教えたじゃろ

気づくのが
遅いわ…♡

肉体の言葉は
肉体でしか
語り得ぬ、と



はじめから
こうしておれば
よかったんじゃよ

それなのに
ずっと
独り相撲を…

じゃがもう
ふたりを阻む壁は
なにもない…♡



くだらぬ些事なぞ
なにもかも忘れて

戻れなくなつて
しまおうぞ…♡



神様ッ…

いままで
ごめんなさいッ

やさしさを
無碍にして

ごめんなさい…

ごめんなさい…

ええんじゃ♡

なにもかも…っ
もうええんじゃ♡



童のほうこそ
ひどいことを
申した…っ

人様に迷惑ばかり
かけているクズで
役立たずの…っ

ずっと童のそばに
いてくれたじゃろっ

いいんですっ…
すべて本当の
ことですからッ

クズでも…っ
役立たずでもっ

はあ

はあ

はあ



もうどこへゆくなっ
ずっとそばにおれ♡

童はそれで充分じゃ♡
お前が何者かなど
どうでもよいっ



んっ♡
んっ♡

己も神様の
身の上なんてッ
どうでもいいッ



愛してますッ

愛してるんですッ

童もみ...っ
愛してると
♡

神様...もうッ

うんっ♡

トキ
キョ

トキ
キョ

トキ
キョ

トキ
キョ

トキ
キョ

トキ
キョ

トキ
キョ



グウ...ッ
とまんないッ

ええよおっ♡

あひゃっ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡

グッ♡
グッ♡
グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡

グッ♡



あぐッ…神様ッ

たすけてッ

融けちゃうッ

融けちゃうって!!



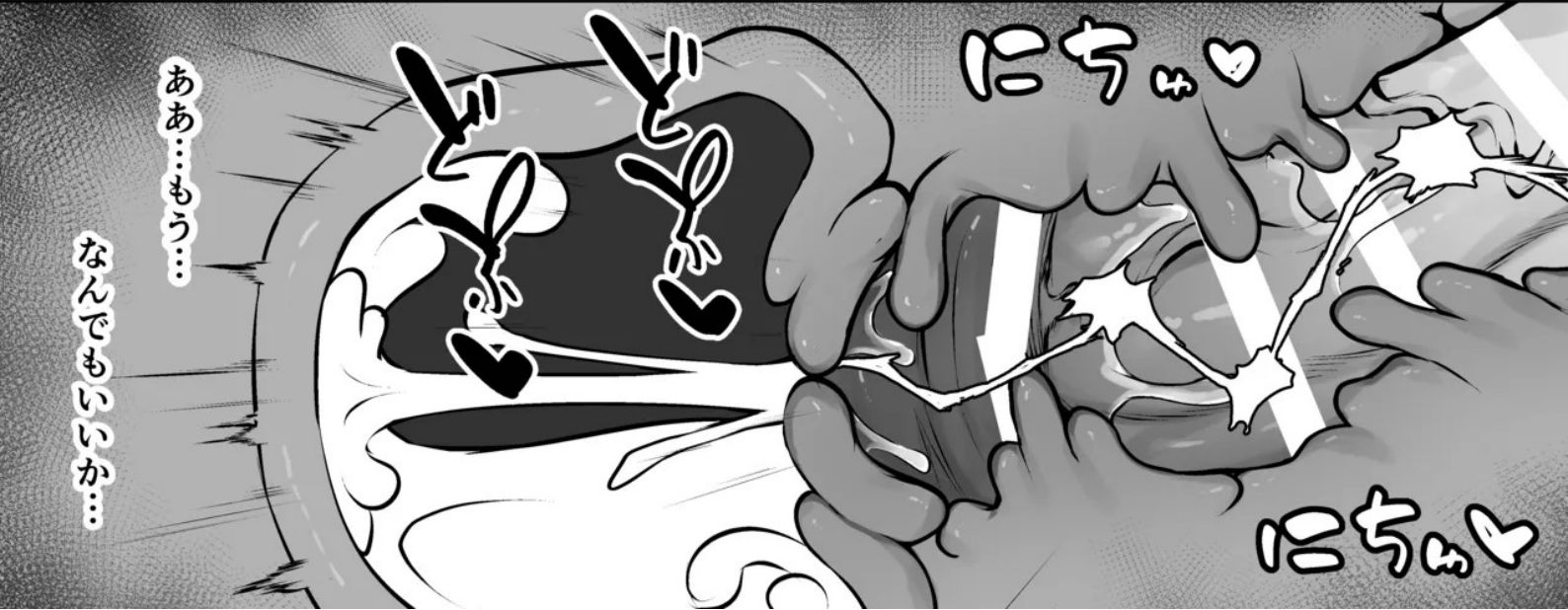
抜かないとッ

死っ…

!!



♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡♡

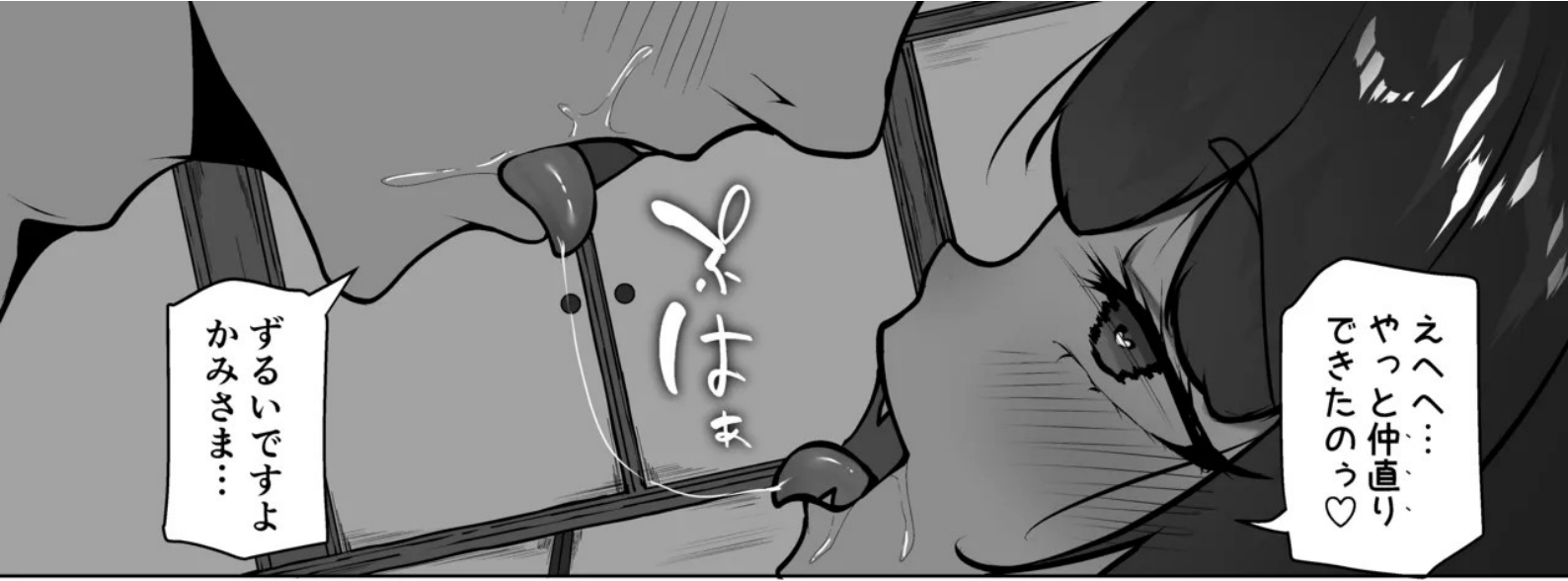


にちゅ♡

にちゅ♡

ああ…もう…

なんでもいいか…



えへへ...
やつと仲直り
できたの♡

ずるいですよ
かみさま...

はなま



んっ...♡



おっ♡

おっ♡





まったく…

どんだけ
貯めこんで
おったんじゃ

はー

はー

はー

はー

し、仕方ない
でしょう

その…

神様みたいな子にしか
勃たないんだから…

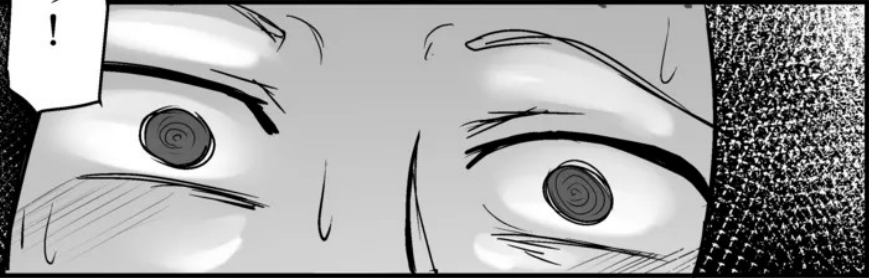


寝ても覚めても
神様の乱れた御姿
ばかり考えて…

同じじゃな♡

お主にどう
抱かれるか…

幾度も幾度も
そればかり
考えとったわ♡





さつき射精だしたのが
とどめなく
溢れてくる…



かべ
腔壁のほうも
舌なめずりが
容赦ない…ッ

油断したら
すぐにイく…ッ

適当に気を
紛らわせないと…

ちゅー…
ちゅー

とぐろを巻かれて
搾り取られたのも
今やいい思い出ですね

あ、あのときは
お前さんが
悪いんじゃないっ

こんなぶつとい雁^{カリ}を
擦りつけられたら…
我を失っても仕方ない

膣^{なか}内でおっきく
なるなあ…ツ♡

ここまで
求められて
昂ぶらない男は
いませんって

神様こそ、こんなに
締めないで…ツ

無理い…♡♡♡



た、頼むから
やさしゅう
しとくれ…

後生じゃ…



神様…無理だッ

えっ



掻きだされっ♡

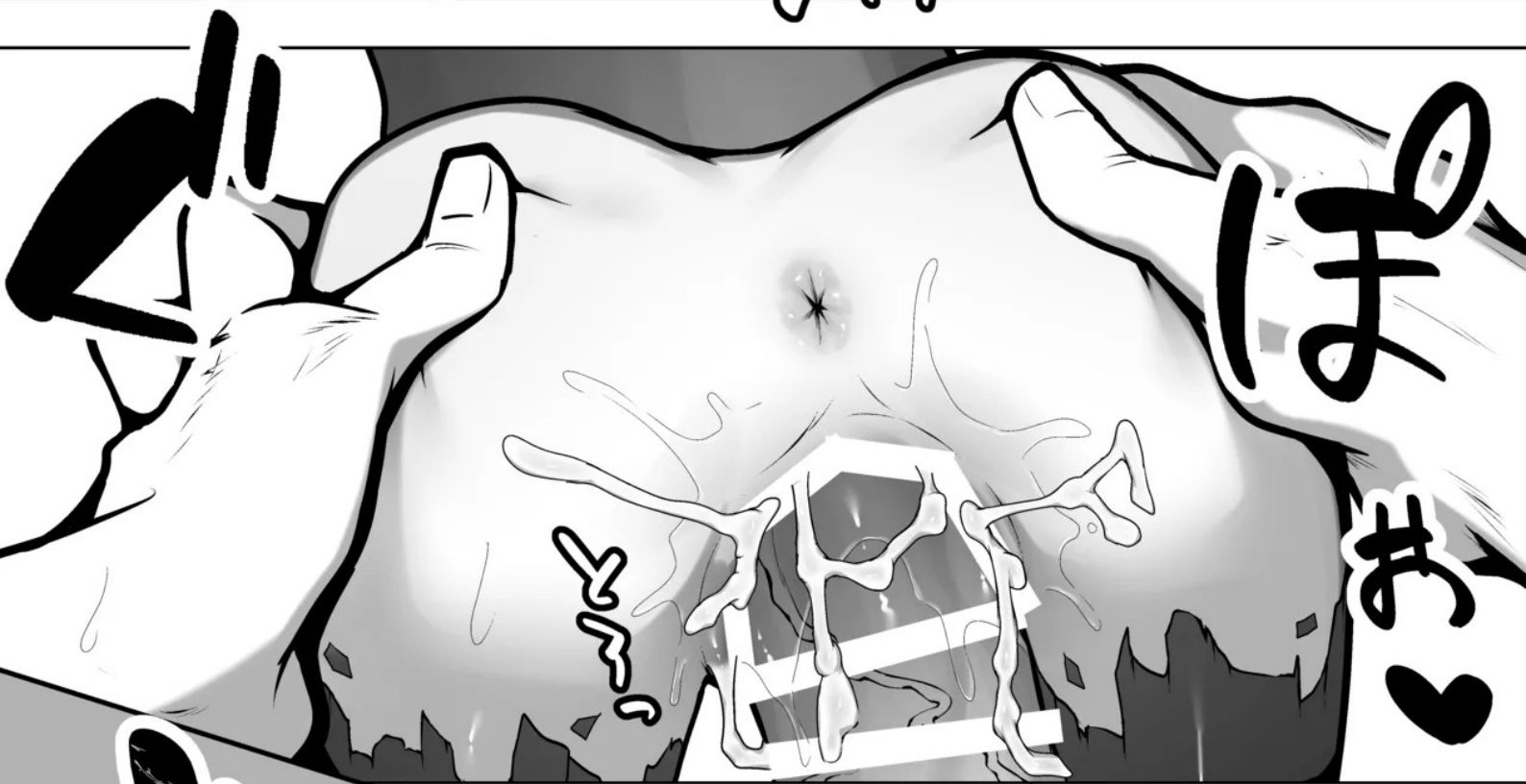
おー？

あっ♡
うそっ…♡

ふん…ッ

ずるーっ

あーっ♡
あーっ♡
あーっ♡







神様ッ

ほえっ?

んっ♡

おなか
子宮たぶたぶっ♡

びゅーびゅー
ながすぎ…♡

言ったでしょうッ!
塗り替えるって…うっ

最後の…ッ



アハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ

フハハハ



いや…別に不満があったとかじゃ…
本当なんでだろう…

なのはまだ
ガチガチ
なんじゃが？



死ぬほど
射精た…ッ



童にはよく
わかるぞえ…♡

わかるって
な、なにが…



本当はぐちゃぐちゃに
犯されたいんじゃろ♡

玩具みたいに
弄ばれて♡

精魂尽きるまで
搾り取られて♡

ん…ッ!!

ええよ♡
いっぱい
虐めてやろう♡



ほーれっ♡

んむッ



まだ上に
乗っただけ
なのに

こんなに尻を
叩きよって♡

あっ…



この色惚け
ばかちゃんぽめ♡

おりに
幼腫に閉じ込めて
可愛がってやる♡



待って…ッ

淫^{いや}乱らしいの♡

もうすっかり
肉^{からだ}体が馴染んで

子宮^はまで難なく
挿^い入^くってきよるぞ♡

うう…っ

カハッ…♡

情けない顔じゃ♡

ぐちゃぐちゃに
捕^お食^かされるのは
これからじゃの♡…♡





じゃがそれだけでは
分からぬのう…？

えい！いや…
そのお…ッ
お、犯してほし…ッ

もっとはっきりと
云うてくれぬと♡

よく聞こえ
なんだなあ？

神様にッ

だからッ
その…ッ



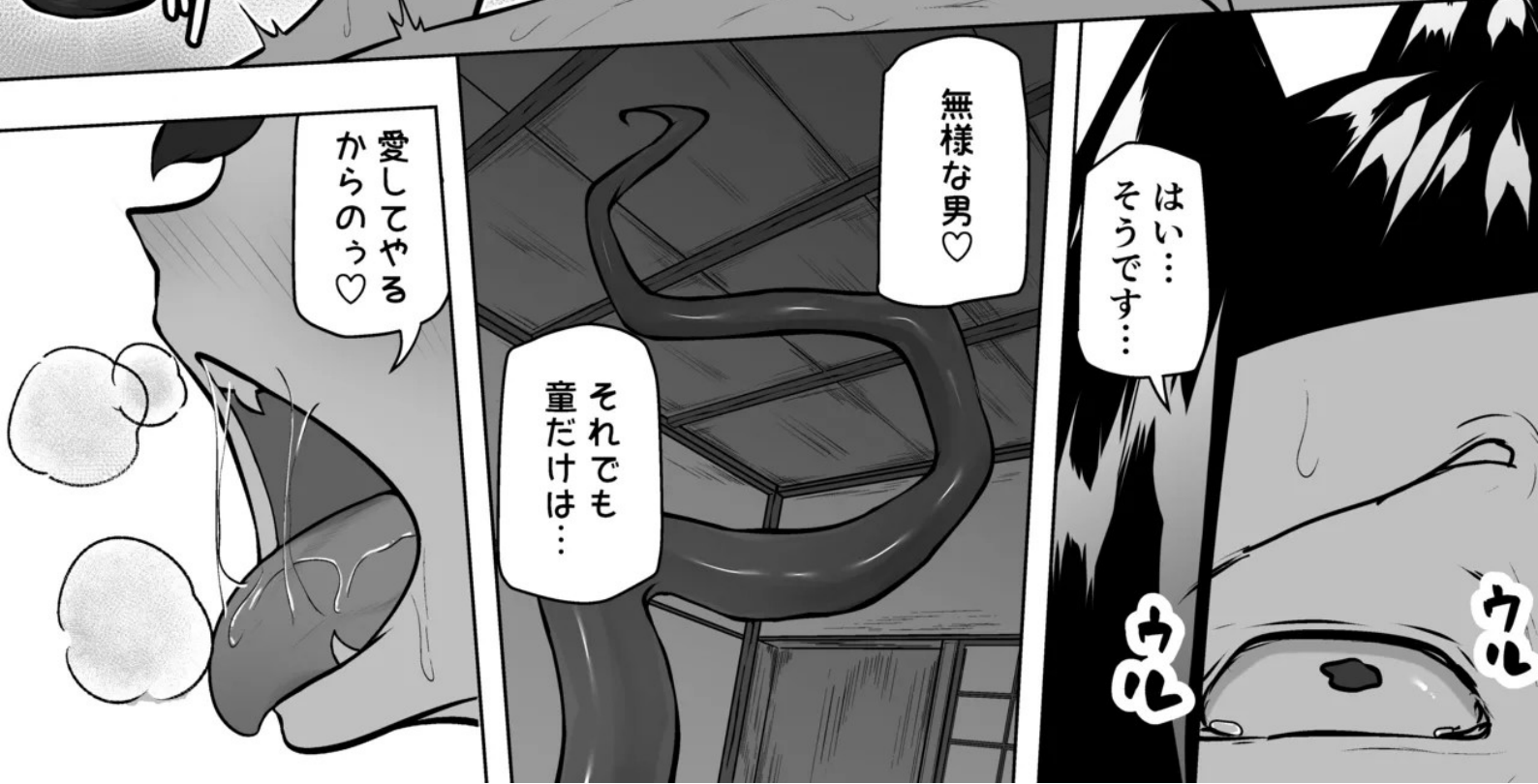
爪や牙を立てて
貪り喰うように
搾り取って
ほしいです…ッ

あーあ…♡

やはり童の
言うた通り…



貴様は犯されて悦^よ楽^がる
真性の色狂^{へん}い^{たい}じゃ♡



愛してやる
からのう♡

無様な男♡

それでも
童だけは...

はい...
そうです...



クニクニ

クニクニ
クニクニ

クニクニ

部屋…
壊しちゃう
かもッ!

これ以上
やったら
己ッ…

クニクニ

クニクニ

うッ…

クニクニ

クニクニ





クワッ
クワッ
クワッ

ク
ユ

ク
ユ

ちんちん
こわゆる

ク
ユ

ム
リ
ッ

ク
ユ

バ
ッ

バ
ッ

バ
ッ



こんなばかちんぽ
壊れてまえッ♡



畜生みたいに
ぶちまけろッ



イツッ



おおおおお

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

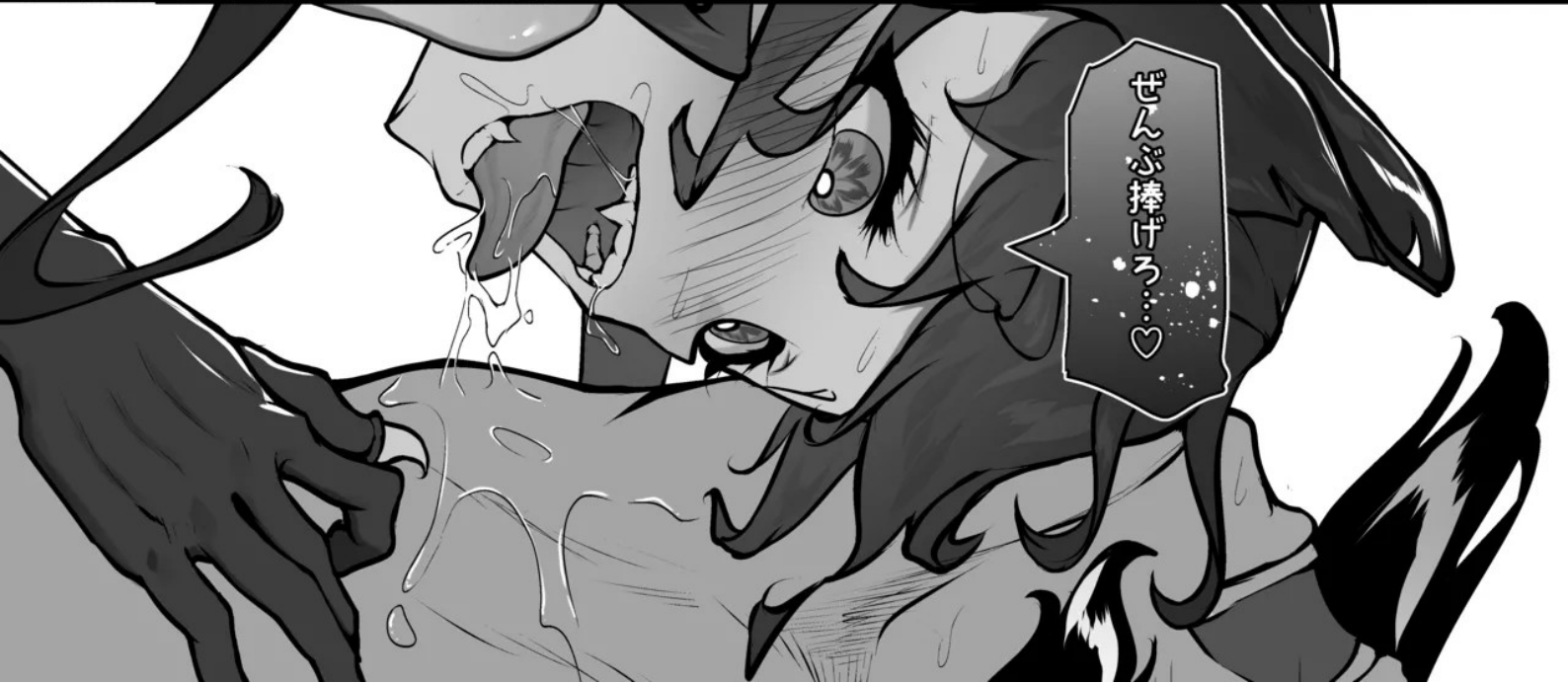
びしょ

びしょ

びしょ

びしょ

びしょ







いまのを…もっと
…して…ください

…!!

神様の玩具モノだって
分からせてください…

あーあ…♡

す
す
す
す
す

もう人間の娘では
イけなくなっても
ええんじやな♡

それでも
童の腕の中で
砕け散って
しまいたいと
申すのかえ？

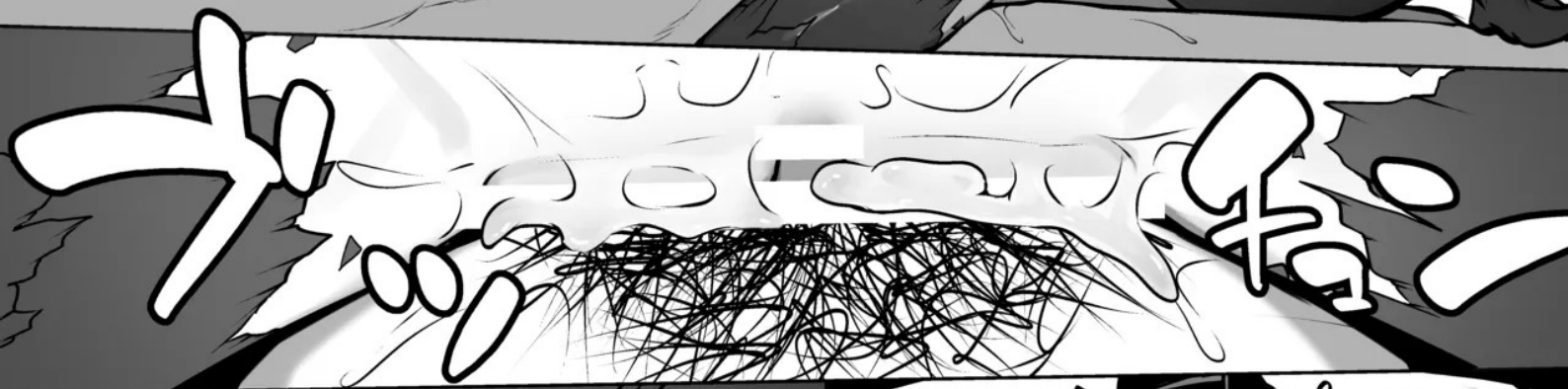
それでも
いいです…ッ

どうやら身も心も怪物けだもの
に成り果おおせたらしいの♡



あえっ？

えいっ



ぐえっ



かみさまあ……っ



グッ





あがッ!!

カハハッ♡
情けない声で
鳴きよって♡

全身隈なく
噛み跡を
捺してやるッ

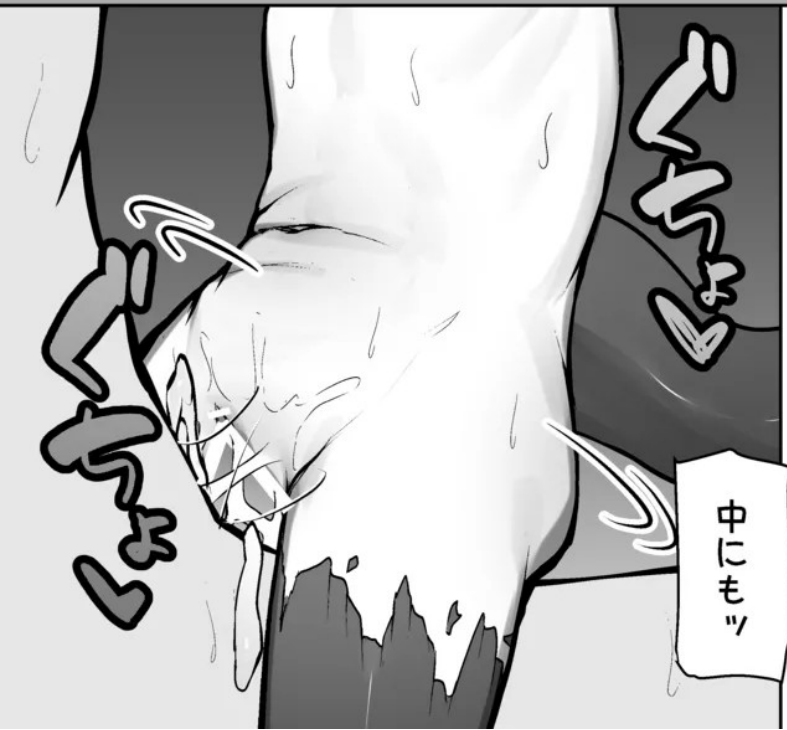
カハハッ

カハハッ

カハハッ

カハハッ

んむっ!?



中にもッ



外にもッ



これッ…さっき
射精した分で

おく
子宮が張って
余計に擦れるッ



先っぽの
感覚がッ

へへっ…
わ、童もっ

もう痺れて…っ♡

まるで
肉体の境い目が

無うなった
みたい…♡
じゃろ？

はっ♡

はっ♡



いや…♡

ほんとうに
からだ
肉体の境い目が
無うなつとる
かもしれぬのう♡

うっぐ…

聞こえるじやろ？

ぐっぐっ



こーんな
いやらしい音
立てよつて♡

神様…



きつと腔内^{ナカ}はどろどろに
融け合つておろうよ…♡



このままお互い腕の中に閉じこめて

あの稲妻のなかで果てようぞ…♡

ははひっ

ははひっ



ぽんぽん♡

ぽんぽん♡

ずーっとずっと…っ

可愛がってやるからのっ♡

うっ…

神様あつ

好きなだけ甘えてええよあ♡

ぽんぽん♡

ぽんぽん♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

んっ♡

神様ッ

さっきのが
またくるッ!

フッ
フッ
フッ

ああっ♡

最後の一滴まで
ぜんぶそそげっ♡

童と融合しろっ♡







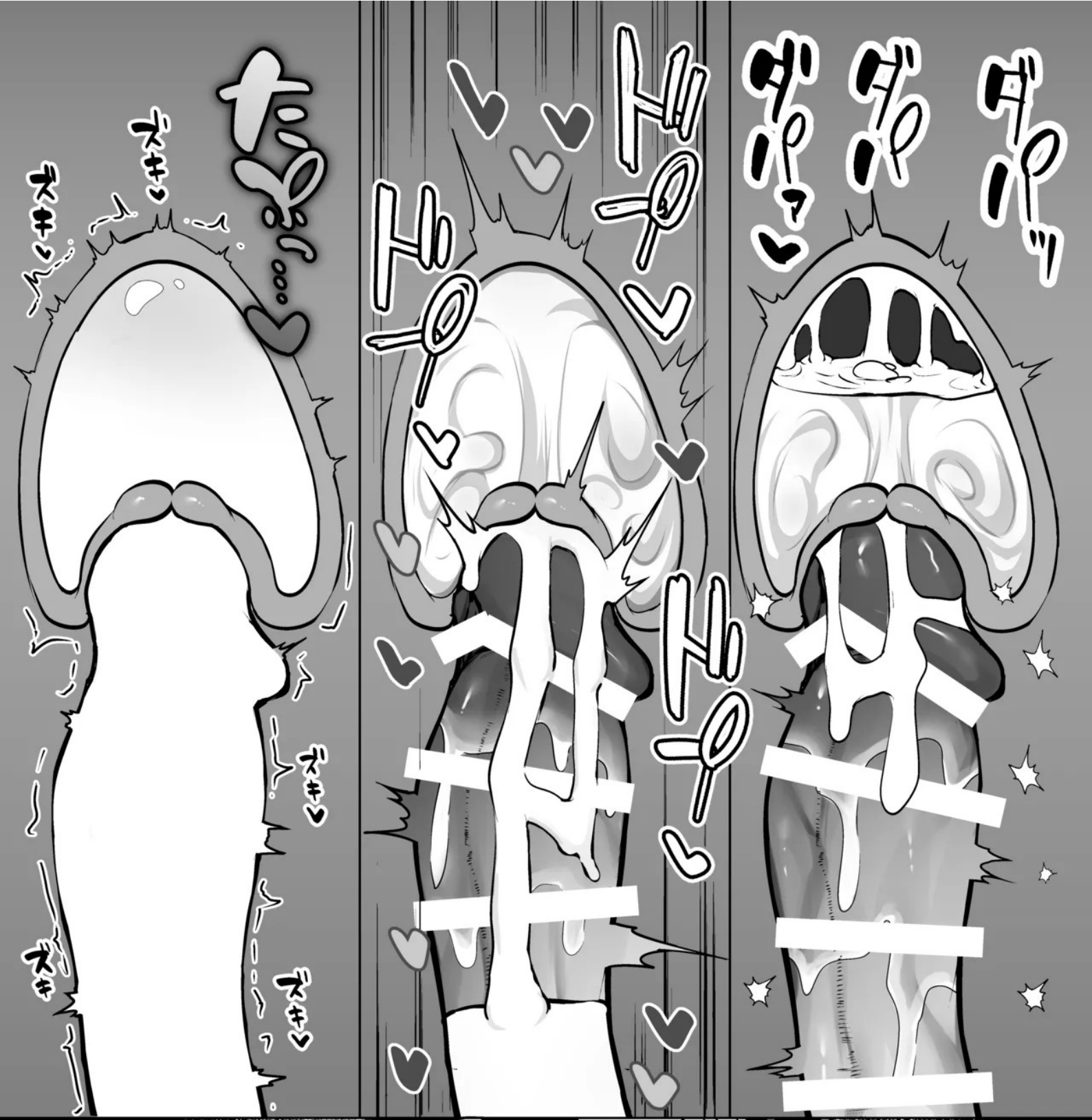
神様っ…
ごめんなさい

ええよぉ♡

とまんなくって…っ

ゼーんぶっ
射精^だひてえっ…♡

うッ…
またくるッ!



神様…

やっと一つに
なれたのう♡

>>>>
♡



神様…
己やります

藩主の務めを
全うします

ふーん…あっそ
まっ、ええことじゃな

ぐう……

それで…その…

できれば
一緒に
く…く…
暮らしっ

やれやれ…
かつこよく決まったと
思うたらこれじゃ♡

何度も言わすでないわい

みことのおおひめ
巳琴大姫

えっあつ
い…今
なんて？





みことの
おおひめ

おう♡

みこと
巳琴様…

みこと
巳琴様ッ

みこと
巳琴様ッ

ちよっ…嘘っ♡
おわーっ♡



みことのおおひめ
巳琴大姫

ともに暮らすなら
っがいな
伴侶の名ぐらい
覚えんな♡